SDGs に関する国際的議論に向けた課題と展望

- 公益財団法人地球環境戦略研究機関（IGES）
- 持続可能な社会のための政策統合領域研究員（兼）
- 東京工業大学大学院社会理工学研究科価値システム専攻研究員
- 宮澤　郁穂
- miyazawa@iges.or.jp

自己紹介

これまでの研究調査内容：

- アジア地域の環境ガバナンスに関する調査
- リオ＋20に向けた提言
- ポスト2015年開発アジェンダや持続可能な開発目標（SDGs）に係る研究調査。
- 国内研究プロジェクトPOST-2015幹事

主な業績：

持続可能な開発目標（SDGs）に関する国際動向：各国アンケート調査の結果から
IGES Valdes Titech　井口　正彦・IGES　サイモン　オルセン・宮澤郁穂　(2013年1月)
地球システム制約下のポストMDGs (持続可能性目標：SGa）－さらなる課題の特定化に向けて－
東京工業大学・IGES・UNU-IAS　(2012年12月)
What are Sustainable Development Goals? (IGES Rio+20 Issue Brief Vol.1)
IGES 宮澤　郁穂
参照：http://www.iges.or.jp/jp/post2015/index.html

SDGsとは？

- 持続可能な開発の**３つの側面（経済、社会、環境）に統合的に対応**
- 先進国・途上国を対象とする**普遍的目標**
- **行動志向型、簡潔、かつ、野心的な目標**
- **限られた数の目標**
- MDGsや2015年以降の開発アジェンダと整合性を持つもの
- 国際法、Agenda 21やヨハネスブルグ行動計画（JPOI）、リオ原則その他過去のコミットメントに基づく
- 国の異なる現実や能力、発展のレベル、優先事項を考慮
- ターゲット、インディケーターによる進捗状況のチェック

課題

✓ 対象課題･分野、実施手段等に関して、**先進国･途上国間に意見の相違**

参照：リオ＋20成果文書、パラ245 - 251

背景

＜ミレニアム開発目標（MDGs）＞ 2015 ＜持続可能な開発目標（SDGs）＞

MDG７：環境の持続可能性確保

✓<u>具体的目標</u>

１．持続可能な開発の原則を各国の政策やプログラムに反映させ、環境資源の喪失を阻止し、回復を図る。

２．生物多様性の損失を抑え、2010 年までに、損失率の大幅な引き下げを達成する。

３．2015 年までに、安全な飲料水と基礎的な衛生施設を持続可能な形で利用できない人々の割合を半減させる。

<u>課題</u>

✓途上国対象型

✓MDG7は明確な定量的目標ではない

✓他のMDGs に比べ森林問題や水問題、CO2 排出等の課題に対する進捗は芳しいものではないとの評価

✓グローバル目標と国家目標の関係性

これまでの議論

- リオ＋20プロセスでコロンビア・ペルーによる提案、リオ＋20の成果
- 多くの国・機関・市民社会が支持
- 2015年以降の開発目標と統合
- 持続可能な開発の３つの側面（経済、社会、環境）に統合的に対応
- 先進国・途上国を対象とする<u>普遍的目標</u>
- <u>新たな課題（エネルギー、防災等）</u>も検討

<u>論点</u>

✓MDGsとの関係性

✓主要原則

→普遍性

→「共通だが差異のある責任」原則

✓対象課題・分野（エネルギー、新技術等）

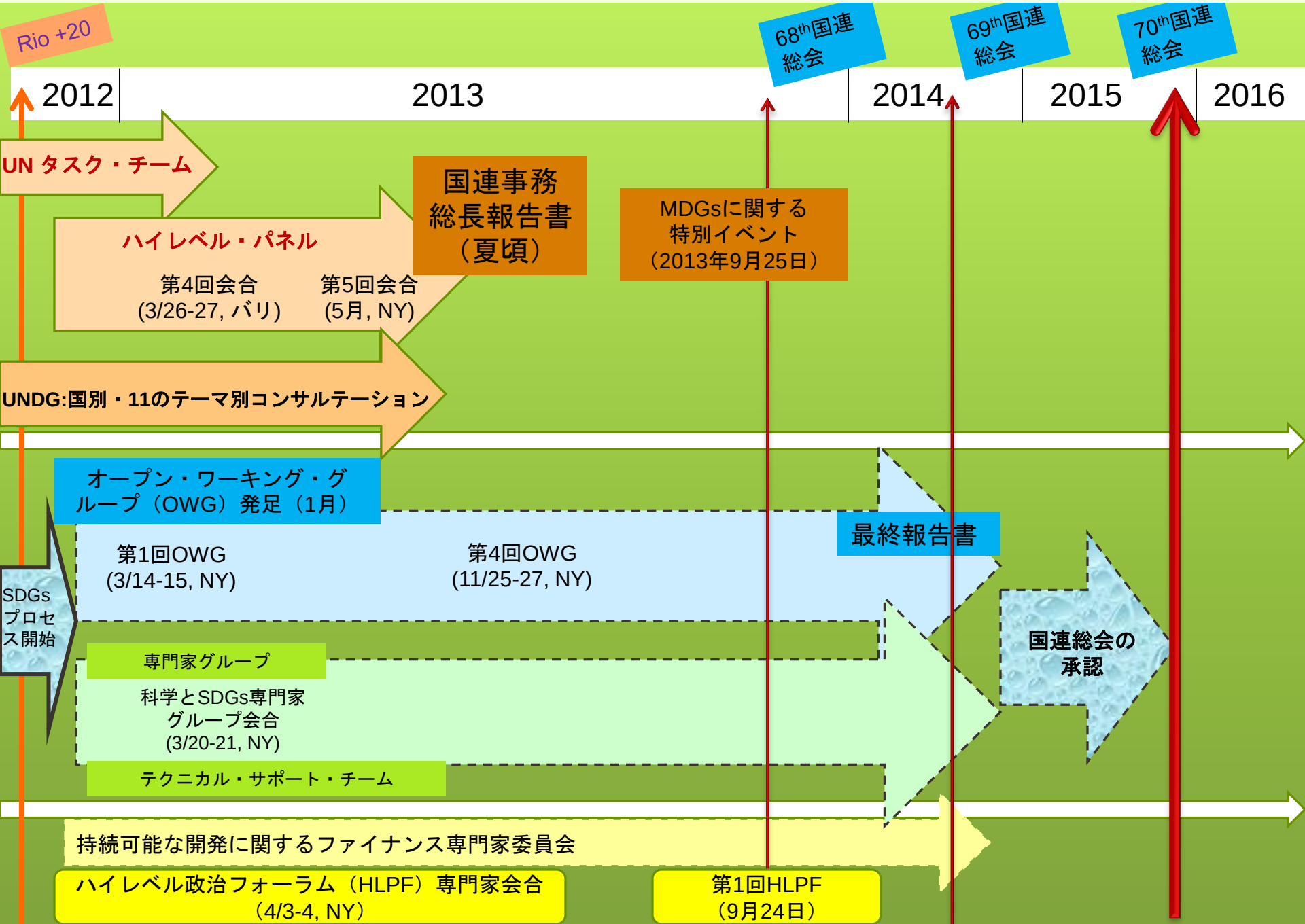
✓測定手段・指標

✓実施手段（資金、能力開発、技術移転等）

✓ガバナンス

これらの全体的動向を把握し、地球システム変動に対応した、多角的視点・分野横断による研究が必要

ポスト2015/SDGsプロセス



SDGsに関するOWGスケジュール

（2013年8月9日時点）

OWG	日時・場所	テーマ
1	3月14－15日, NY	①アジェンダ策定、②総論
2	4月17～19日, NY	①SDGsの概念、②貧困撲滅
3	5月22～24日, NY	①食料安全保障と栄養、②持続可能な農業、③砂漠化・土地劣化、④水と衛生
4	6月17－19日, NY	①雇用、②社会的保護、③若年層、④教育 と文化、⑤人口
5	11月25－27日, NY	①持続的・包摂的な経済成長 、②マクロ経済政策、③インフラ整備、④エネルギー
6	12月9－13日. NY	①実施手段、②持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップ、③特別な状況下の国のニーズ、④LDCs/LLDCs/SIDS/アフリカ 等、⑤人権、⑥グローバル・ガバナンス
7	2014年1月6－10日、NY	①持続可能な都市・居住、②持続可能な消費と生産 、②気候変動 、③防災
8	2014年2月3－7日、NY	①海洋、②森林・生物多様性、③公平性（⑦ジェンダー含む）、④紛争予防・平和構築、法とガバナンス

2014年2月までに優先課題を同定、2014年3月以降に交渉開始。
交渉テキストのドラフト化は2014年1月～2月に実施予定。

POST-2015/SDGsに関する主要なプロセス

Process	Co-chairs	Final Report
High Level Panel on Post-2015 Development Agenda	UK, Liberia, Indonesia	May 2013
SDGs OWG	Hungary, Kenya	Fall 2014
High Level Political Forum	Kazakhstan, Norway	1st HLPF at 68th UNGA
Expert Committee on Financing	Brazil, Italy	Fall 2014

<Other key processes>

Globally ： G8, G20, IMF, WTO….

The 2015 G20 in Turkey

6th BRICS Summit in Brazil in 2014,

22nd African Union Summit in January 2014

In Asia: Regional Consultation meeting in Bangkok, August 2013

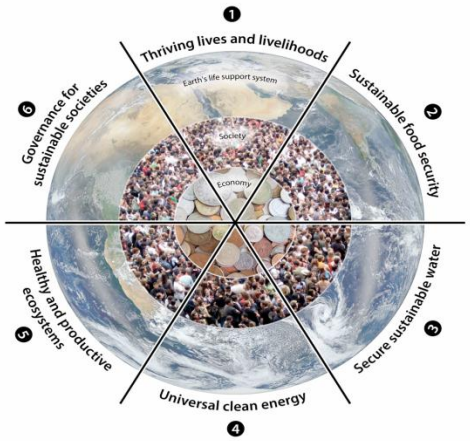
ハイレベル・パネル報告書（抜粋）

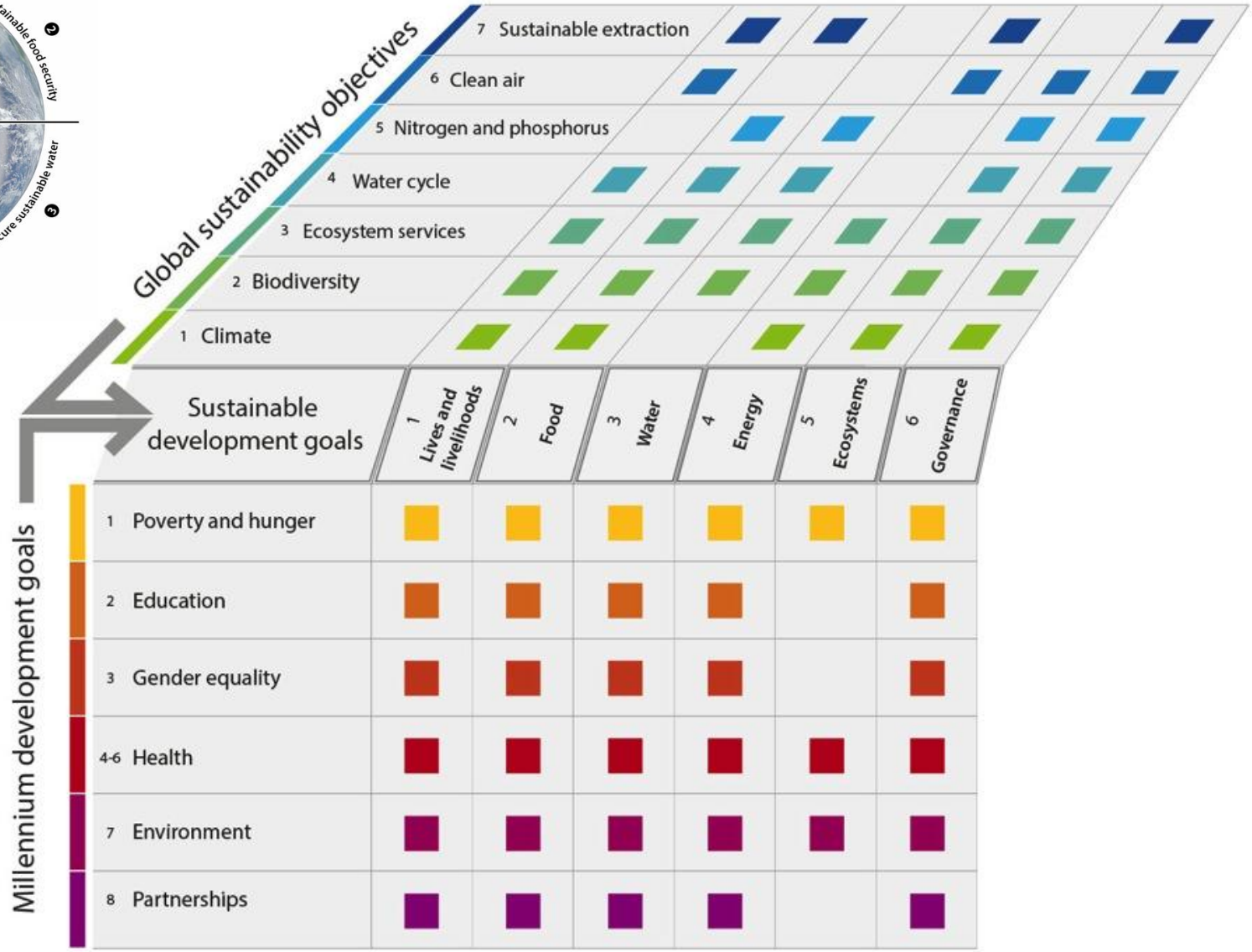
1. **Leave no one behind**
   (poverty, human rights, basic economic opportunities)
2. **Sustainable Development at the Core**
   (mobilize 3 dimensions together)
3. **Transform Economies for Jobs**
   (SCP, Youth and Women, Cities)
4. **Build Peace and Effective**
   (freedom from fear, rule of law, access to justice)
5. **Forge Global Partnerships**
   (government ++, climate change, trade, financial stability)

Emphasizes Data Revolution

これまでのSDGs OWGでHLP報告書の提案に関する言及はあまりない

Nature article by Griggs et al.（2013年3月21日）

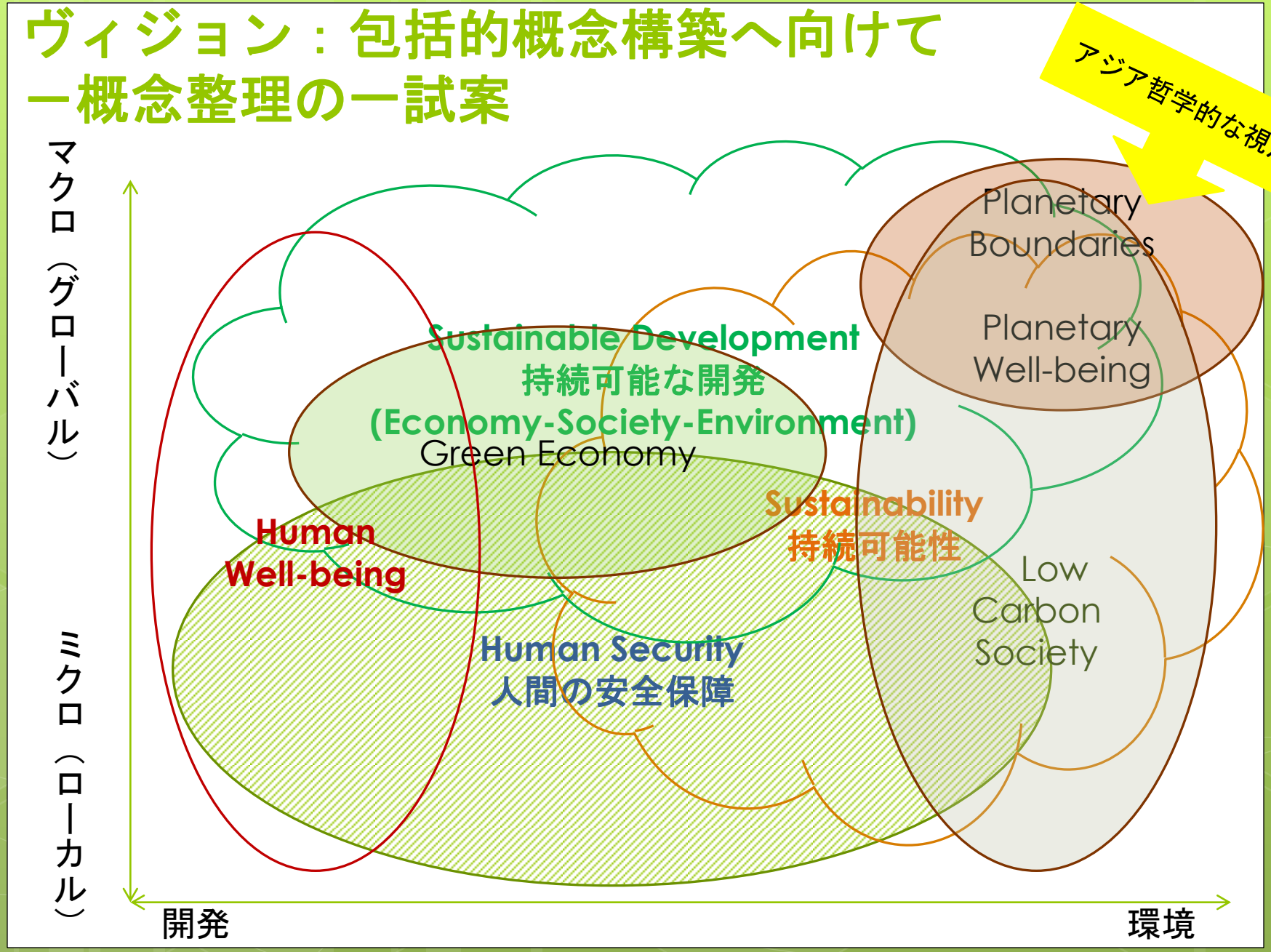




MDG's (2000-2015)	Griggs et al Nature paper (2013.3)	SDSN (2013.5)	HLP (2013.5)	Global Compact (2013.6)
Eradicate extreme poverty and hunger	Thriving lives and livelihoods. End poverty and improve wellbeing	End extreme poverty including hunger	End poverty	End poverty and increase prosperity via inclusive economic growth
Achieve universal primary education	Sustainable food security	Achieve development within planetary boundaries	Provide quality education	Quality education for all
Promote gender equality and empower women	Sustainable water security	Ensure effective learning for all children and youth for life and livelihood	Empower women	Achieve women and girls' empowerment
Reduce child mortality	Universal clean energy that mitigates global warming	Achieve gender equality, social inclusion, and human rights	Promote quality healthcare	Universal health coverage
Improve maternal health	Healthy and productive ecosystems	Achieve health and wellbeing at all ages	Ensure food security	Good nutrition for all through sustainable food and agricultural systems
Combat HIV/AIDs malaria and other diseases	Governance for sustainable societies	Improve agriculture systems and raise rural prosperity	Deliver access to water, sanitation and hygiene	Water and sanitation for all
Ensure environmental sustainability		Empower inclusive, productive and resilient cities	Secure sustainable energy	Sustainable energy for all
Global partnership for development		Curb human induced climate change and ensure clean energy for all	Create inclusive growth	Build peaceful and stable societies
		Secure ecosystem services, biodiversity and good management of natural resources	Make fair and accountable institutions accessible	Modernize infrastructure and technology
		Transform governance for sustainable development	Protect nature and the livelihoods which depend on it	Good governance and realization of human rights
			Catalyse long term finance	

出典：Griggs, 2013に筆者加筆。.

ヴィジョン：包括的概念構築へ向けて
ー概念整理の一試案



出典：蟹江憲史、2013.

主要国のポジション（抜粋）

課題	主張
ビジョン	•①貧困削減、②環境持続可能性、③持続可能な消費と生産、④衡平な開発の4 点が重要（ネパール） •「共通だが差異ある責任（CBDR）」に基づくべき（G77+中国） •人間の安全保障や開発に持続可能性を統合する（日本） •持続可能ではない消費供給パターンを先進国がリードして改めるべき（ブラジル）
統合の在り方	•MDGs型（オーストラリア、ブータン、ボツワナ、ブルネイ、フィジー、ハイチ） •Post-MDGs型（日本、英国） •SDGs型（コロンビア、ペルー、グアテマラ、北欧諸国） •独立型（ブラジル） ※EUは交渉次第で独立型もあり得るとの見解。
制度	•SDGs の実施をモニタリング評価するためのメカニズムとして、HLPF がレビュー・メカニズム、ECOSOC が調整メカニズムとして機能すべき（スイス、ロシア）
実施手段	•新興市場国と民間部門との連携を強化すべき（日本） •ファイナンス、技術移転、キャパビルが重要（G77＋中国）

出典：持続可能な開発目標（SDGs）に関する国際動向：各国アンケート調査の結果から, IGES Valdes Titech　井口　正彦・IGES サイモン　オルセン・宮澤郁穂　(2013年1月)

主要メッセージ（ISAP2013より）

●SDGsを定義プロセスは、持続可能な開発の重要さに関して各国政府に再認識させるための重要な機会。

●現場での実施が不可欠。**目標設定プロセスにおける包括的な参加**が重要。特に国レベルのターゲット設定プロセスが鍵。

●SDGsは全ての国に対応するが、**最終的にはターゲット設定及び実施メカニズムの確保は各国政府の判断**。

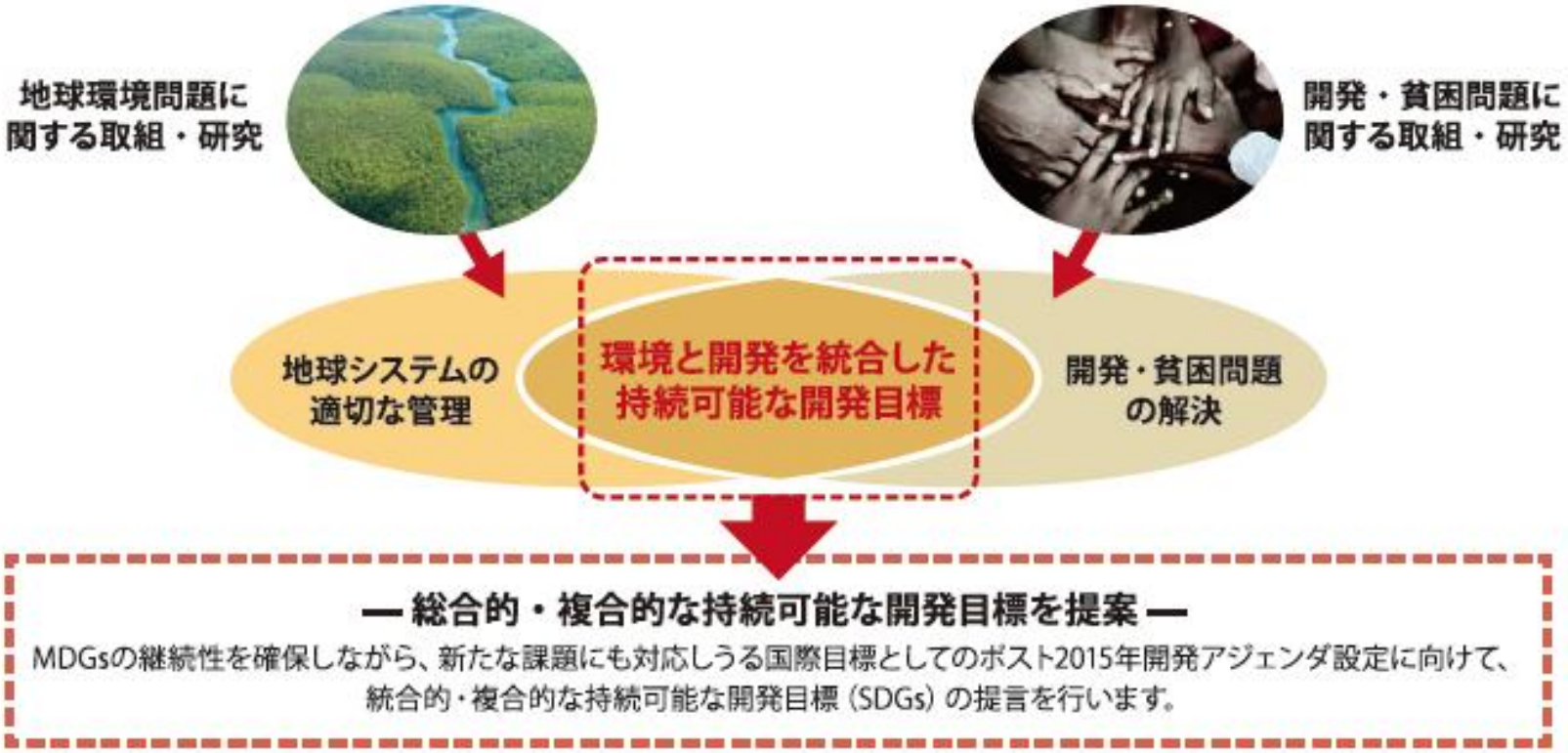
●長期的なSDGsは、各国政府の**短期的なターゲット**が必要。短期的なターゲットを設定することにより、政府説明責任の担保が可能。

●エネルギーはSDG目標の有力候補。国連事務総長のイニシアチブ「すべての人のための持続可能なエネルギー」（SE4ALL）の既存目標を活用する例が多いが、**各国の発展段階や自然資源の賦存量に対応した異なるターゲットの設定**が必要。

ISAP2013, 24 July 2013

既存研究活動の紹介
①POST2015プロジェクト

POST2015
みんなが活きる地球に変える



URL: http://www.post2015.jp/index.html

②IGES

http://www.iges.or.jp/jp/integrated-policy/post2015.html

Home　研究　ニュース&イベント　出版物　ネットワーク　IGESについて

ホーム　研究　持続可能な社会のための政策統合　ポスト2015年開発アジェンダ/SDGs

ポスト2015年 開発アジェンダ / SDGs

2015年以降のポスト・ミレニアム開発目標(ポストMDGs)、持続可能な開発目標(SDGs)の行方 ～アジアの視点からの提言

Highlights

IRF ウェブサイトが正式オープン
Independent Research Forum (IRF) on a Post-2015 Sustainable Development Agenda

POST2015 ウェブサイトオープン(2013年6月)
持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合的研究 - 地球の限られた資源と環境容量に基づくポスト2015年開発・成長目標の制定と実現へ向けて –

研究者の視点(2013年6月):
Post-2015 global goal setting: attention to ownership, partnership and evidence needed
持続可能な社会のための政策統合領域　宮澤　都穂、吉田　哲郎

The Independent Research Forum (IRF) BLOG (2013年5月28日):
Why do we need global goals?
持続可能な社会のための政策統合領域　サイモン　オルセン

IISD ニュースフィード

* カナダの国際持続可能開発研究所(IISD)が配信するポスト2015開発アジェンダ関連ニュースです

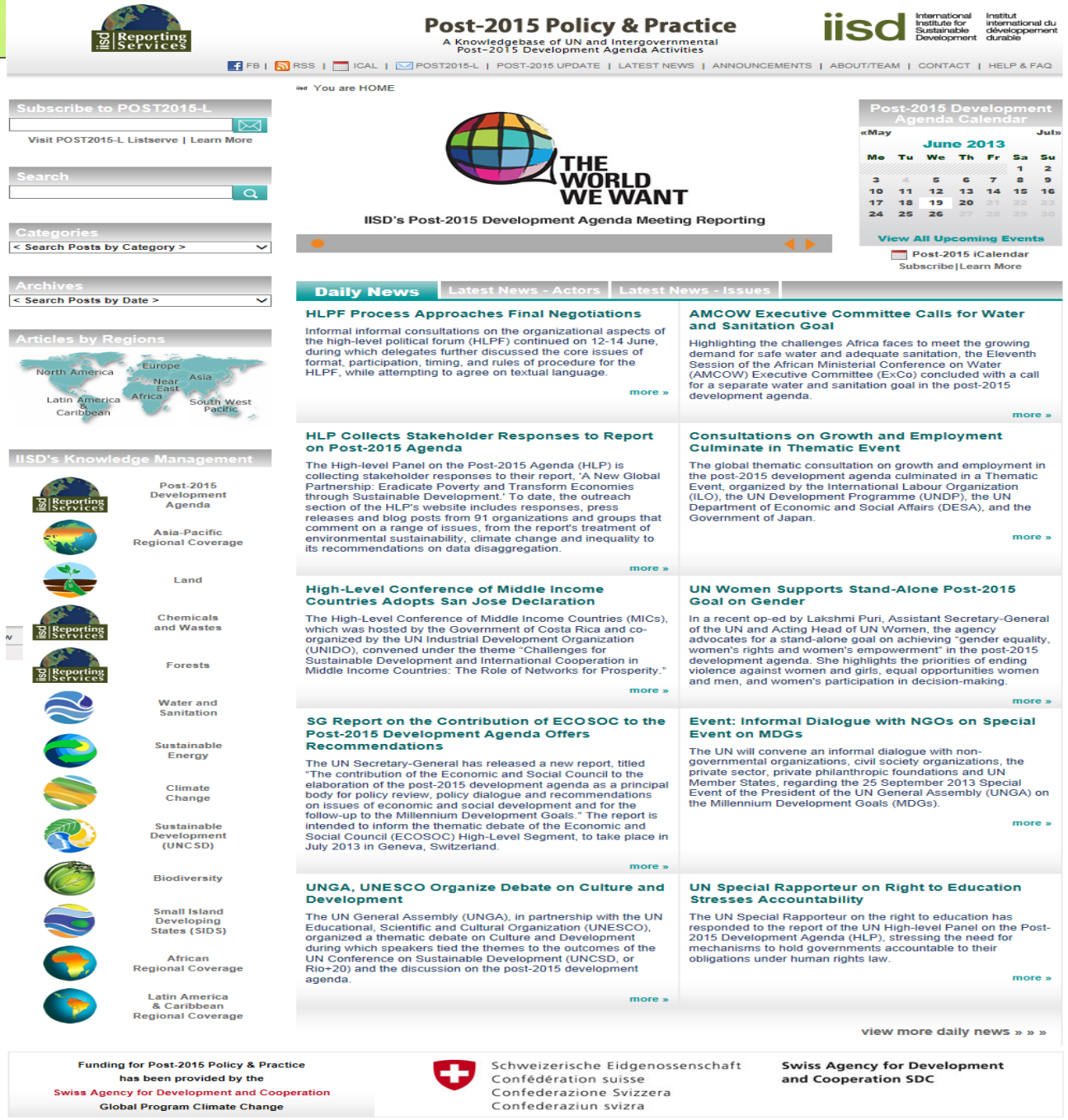
Sustainable Development Policy & Practice - Daily RSS Feed

Event: Gender, Water and Development Conference 2014 (2013/7/8--2:4:43)

Event: UN Forum on Forests Eleventh Session (UNFF11) (2013/7/7--13:58:8)

③IISD Post-2015 Policy & Practice

Subscribe: http://post2015.iisd.org/about-the-post2015-l-mailing-list/



ご清聴ありがとうございました！

公益財団法人 地球環境戦略研究機関（IGES）
TEL： +81-46-855-3845
FAX： +81-46-855-3809
Email: miyazawa@iges.or.jp
URL: http://www.iges.or.jp